

学校教育目標：“自ら学び 共に生きる 心豊かで たくまいる生徒の育成”

令和3年度  
豊田南中学校  
学校だより  
第11号

# 南中賛歌



←ホームページ

「美しくあいさつ 明るく歌声 そっとボランティア」

令和3年9月17日発行  
文責 教頭 杉田 直樹

## ○英語弁論大会から

磐周中学校英語弁論大会が9月9日(木)にビデオ審査で開催されました。本校からは、3年生の熊岡■■■さんが出場しました。夏休みに学校へ来て、熱心に練習する姿をホームページでもお伝えしましたが、その努力が功を奏し、磐周地区で第2位に輝きました！

さらに、先日、ビデオ審査で開催された西部大会にて、第3位になり、見事、県大会出場を決めました！！

身振り手振りを交えた表現力も素晴らしいですが、スピーチの内容がさらに素晴らしいと感じました。日本人が他国の人に抱いているイメージ、それは偏見ではないのか、他国の人を正しく理解するには、何が大切なのかなど、その内容は、考えさせられるものがあります。ぜひご一読ください。(中学生の皆さんは、辞書を使って、自分で訳してみてください。)



### “To the New World”

Japanese people are polite and follow the rules. American people are friendly and cheerful. But Chinese people are selfish and often have bad manners? Is that true? Is that a fact? Isn't it our image?

I heard from my friend from another school who attends the same juku as me that many people exclude a boy who is half Chinese and half Japanese in my friend's class. Their reason to exclude him is his face doesn't look Japanese or they do not like Chinese people. Today, there are many foreigners in many schools. Is everyone of them excluded because of only his or her face? Of course not. Is it because he has his roots in China? I think that we mustn't torture others or make them sad because of our own imagination.

Before, I also wondered whether Chinese people were violent or selfish. I think the news seen in Japan has given such images to many people. Then, when I was 11, I visited China, and the image I had was changed quickly.

When I was sitting on a chair at the airport, a Chinese man was friendly to me though he knew I was Japanese. When I went to the supermarket, I saw people standing in a line in front of the checkouts. No one cut in line. Also, I saw gentle actions like in Japan. For instance, people gave their seats to the elderly and children on buses. While I stayed in China, I saw surprising actions like these, which I hadn't imagined before visiting. To my surprise, I met an old man who spoke Japanese.

Recently I learned why that man could speak Japanese in my history class. It amazed me. In the past, Japan ruled several East-Asian countries and taught Japanese to the native people there. In the past, Japan tortured these people, including some from China. However, many Japanese people have bad images of China. I feel it is very disgraceful.

Our images may lead to a lot of prejudice. Recently, a black person was injured by white police officers in the U.S. I think that we mustn't see anything with our own selfish imagination. We should look at the facts obediently, before thinking about anything. There is a lot of false information. So, we also need to judge which information is correct. (裏面に続きます。)

We often racialize people without thinking. I think it makes discrimination. We should think all of us are from the Earth. Then we will have much less discrimination of races and peoples.

So, what can we do to think based on facts without rumors or prejudice? I think the best way is to travel abroad and see facts. But now it is difficult to visit other countries because COVID-19 is going around. So, I think watching foreign news is also good to understand other countries instead. By doing so, we can broaden our horizons and decrease our prejudice. If we can understand and respect each other, it will probably lead to promoting peace in the world.

Let's open the door to the new world. It is up to us to change the world.

## <和訳>

## 『新しい世界へ』

日本人は礼儀正しく、ルールを守ります。アメリカ人はフレンドリーで明るいですが、中国人は自分勝手にマナーが悪いです。それは本当でしょうか。事実ですか。私たちのイメージではないですか。

私は(私と)同じ塾に通う他校の友達から、彼のクラスで中国人と日本人のハーフの男子が多くの人から仲間外れにされているということを聞きました。彼を仲間外れにする彼らの理由は、「顔が日本人っぽくないから。」とか、「中国人が好きではないから。」です。こんなに、多くの学校に多くの外国人がいます。彼らはだれもが、その顔つきだけのせいで仲間はずれにされるのでしょうか。そんなことはありません。それは、彼らが中国にルーツをもつことが原因でしょうか。私は、人がもつ勝手なイメージで人を苦しめたり、悲しませたりすることはしてはいけないことだと思います。

以前は、私も中国人は性格が荒く身勝手なのかと思っていました。日本で見る報道が多くの人々にそのような印象を与えているのだと思います。それから、私は11歳のときに中国へ行き、私がもっていたイメージは一瞬でひっくり返りました。

空港で私が椅子に座っていると、一人の中国人が、私が日本人だと知っていながら、親しく接してくれました。私がスーパーマーケットに行ったときも、みんながレジの前にしっかりと並んでいるのを見ました。だれも割り込みなどはしませんでした。また、私は日本と同じように、思いやりのある行動も見ました。例えば、バスの中ではお年寄りや子どもに席を譲っていました。このように、私は中国にいる間に、行く前には想像しなかった驚くべき行動を見たのです。さらに驚いたことに、私は日本語を話す老人に出会ったのです。

私は、最近、なぜ彼が日本語を話すことができたのか、歴史の授業で知りました。それは私を大変驚かせました。昔、日本は東アジアの国々を支配して、そこで現地の人たちに日本語を教えていたのです。昔、日本は中国の人を含むそれらの人々を苦しめてきたのです。にもかかわらず、多くの日本人が中国に対して悪いイメージを持っているのです。私にはそれがとても情けなく感じられます。

私たちのイメージは大きな偏見につながっていく可能性があります。最近、アメリカではある黒人が白人警察官から暴行を受けました。私は、私たち自身の勝手なイメージで物事を見てはいけないと思います。私たちは、何かを考える前には、率直に事実を見つめるべきなのです。間違った情報もたくさんあります。だから、私たちにはどの情報が正しいのかを判断することも必要になります。

よく私たちはあまり考えず人種で人を判断します。私はそれが差別を生むのだと思います。私たちは我々みんなが地球人なんだと考えるべきです。そうすれば、人種や民族による差別はグッと減るでしょう。

では、うわさや偏見なしに、事実から考えるためにはどうしたらいいのでしょうか。私は、一番よい方法は、外国へ行き事実を見てみることにしたいと思います。しかし、現在、新型コロナウイルス感染症の流行で、外国へ行くのは難しいです。そこで、私はその代わりに外国のニュースを見ることも外国を理解するのによいと思います。そうすることで、私たちは視野を広げ、偏見を減らすことができます。もし私たちが互いを理解し尊重できるようになれば、それはたぶん世界の平和を推進することにつながるでしょう。

さあ、開きましょう、新しい世界への扉を。世界を変えてゆくのは私たちです。

※熊岡さんのスピーチは、本校ホームページの動画ページより、視聴することができます。  
(各学年のパスワードを入力してログインすると、動画ページに入れるようになります。)